

令和8年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	佐渡・海洋生物学コース「海洋生物多様性実習」		
実習内容	<p>佐渡島には、多様な海岸環境とそれに伴う様々な海洋生物の生態系が豊かな自然とともによく保存されている。また、潮位差の小さな日本海に位置する佐渡では、太平洋側と異なる磯生物の生態と分布様式を見ることができる。本実習では、磯でのシュノーケリングをはじめとする様々な手法を用いて採集した生物を観察・同定し、10門15綱20種のスケッチを行うことで海洋生物の系統や形態の多様性について学ぶ。また、実習最終日はトキの野生復帰事業に関する施設を見学し、佐渡島における環境保全の取り組みと森里海の生態系のつながりについて理解を深める。</p> <p>【海洋生物採集・観察】 シュノーケリングによる磯生物の観察・採集 たも網を用いた岸壁での夜行性海洋生物の灯火採集 シャベルとふるいをを用いた砂泥海岸での底生生物採集 実習船によるプランクトンネットを用いたプランクトンおよび魚類仔稚魚の採集 ウミホタルの採集および生物発光観察</p> <p>【生態調査】 方形枠を用いた磯生物の帯状分布の調査・データ解析</p> <p>【発表会】 個人での磯生物についての発表、およびグループでの帯状分布調査結果発表</p>		
実習内容キーワード	シュノーケリング、磯採集、プランクトン、ベントス、種多様性、進化、形態、系統分類、環境適応		
担当教員氏名・所属・役職名	安東宏徳（臨海実験所・教授）、大森紹仁（臨海実験所・准教授）、川坂健人（臨海実験所・特任助教）		
協力教員氏名・所属・役職名			
対象学生・学年	国公立大学の学部1～4年生（大学院生も可）	開講期間	2026年8月17日(月)～22日(土) 5泊6日
開講大学・施設名	〒952-2135 新潟県佐渡市達者 87		
施設の住所	新潟大学・佐渡自然共生科学センター臨海実験所		
電話	0259-75-2012	F a x	0259-75-2870
e-mail	hando311@cc.niigata-u.ac.jp	Web Site	https://www.sc.niigata-u.ac.jp/sc/sadomarine/
交通案内	新潟港から佐渡汽船を利用して佐渡島に渡り、佐渡両津港にて集合。両津港－臨海実験所間の移動は、実験所がチャーターバスを用意する（無料）。直江津－小木航路の利用については、事前連絡があれば公用車で小木港までの送迎を行う。		
費用	約 14,000 円（施設使用料、実習期間中の食費、寝具クリーニング代）		
授業科目名	臨海実習Ⅱ		
単位数	2 単位	定員数	約 10 名
授業料の徴収について	授業料は徴収しない。		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	<p>申込締切：2026年7月10日（金）</p> <p>応募書類は期日までに新潟大学理学部学務係へ必着。定員を超えた場合は、締め切り後に抽選により決定する。申し込み方法の詳細は臨海実験所ウェブサイトの「公開臨海実習」ページを確認すること。</p>		
選抜結果連絡法	書面とメールにより本人に直接連絡する		